

2025授業計画書（シラバス）

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	松原徹 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	資格検定Ⅱ	授業 方法	講義・演習(実習)	教育時間	90
教科書	—				
参考書	フォークリフト講習テキスト(コマツ教習所)				

教 育 の 内 容				
授業概要	資格取得に向け、基礎知識の習得・意識の向上。			
実務経験	フォークリフト運転10年以上の経験あり			
授業の進め方	就職先にて使用する車両系および資格の取得・学習。			
到達目標	資格取得に必要な基礎知識と測定技術を習得する。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	—	60%	40%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	走行に関する装置の構造・取り扱いの知識	30		
2	荷役に関する装置の構造・取り扱いの知識	30		
3	運転に必要な力学に関する知識	15		
4	関係法令・走行操作・試験	15		

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	高石一朗	開講時期	2年次通年
科目名	MBS II	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	60
教科書					
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	測定方法を学ぶ、校用車両の点検と簡単な整備の方法を学ぶ			
実務経験				
授業の進め方	座学と実習			
到達目標	測定器具が使える、校用車両の点検方法と簡単な整備の方法を身に付ける			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	50%	30%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	測定	20		
2	フォークリフト点検	10		
3	小型車点検	15		
4	大型車点検	15		

学科	トータルモビリティ技術科	学年	2年
科目	MBS II	授業方法	実習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
測定	a.ノギスの使い方 b.マイクロメーターの使い方 c.サーキットテスターの使い方	4月～7月	20	
フォーク	a.作動油フィルター交換 b.特定自主検査	9月～10月	10	
小型車	a.点火プラグ交換 b.ブレーキ点検 c.電球とヒューズの点検と交換	11月～12月	15	
大型車	a.燃料水抜き b.エンジン回転数測定 c.バッテリーの点検と交換	1月～2月	15	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/3ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	松原 徹 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	装備一般	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	90
教科書	日本航空技術協会 航空工学講座(10) 航空電子・電気装備				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	航空機の装備品の名称、働き、作動原理などを理解する。			
実務経験	航空自衛隊での実務経験を活かした装備一般の授業。			
授業の進め方	実物の計器・装備品を見たり、映像による理解度を高める。			
到達目標	1. 航空機に装備されている各種計器、電子装備品、無線航法機器などの構造、作動原理を理解させる。 2. 航空機製造にかかわる仕事をする上で、用語を知る。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	—	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
Ah	各項目の予習・復習、小テストの実施	30		
1	電源システムと照明	4		
2	アンテナと電波伝搬	8		
3	通信システム	10		
4	航法システム	10		
5	自動操縦系統	10		
6	警報装置、記録装置および救助搜索装置	10		
7	デジタルア・ビオニクス	4		
8	エリア・ナビゲーション	4		

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ工学科	担当	副島茂利	開講時期	通年
科目名	英語Ⅱ	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	50
教科書	中学英文法パターンドリル(文英堂)				
参考書	配布プリント(随時)				

教 育 の 内 容				
授業概要	1. 英語で「読む・書く・聞く・話す」ための土台となる「中学生で学ぶ英文法」をパターン練習で身につける。 2. 英検演習(随時)			
実務経験				
授業の進め方	1. AH－課題提出 対面授業ードリル形式の問題演習(随時説明)・必須の会話表現練習			
到達目標	各種資格試験の勉強やコミュニケーション力を身につけるための学習につなげられるように、その土台となる「中学生で学ぶ英文法」をしっかりマスターすること。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	現在形・過去形・未来系	5	英検演習随時	
2	助動詞	2	英検演習随時	
3	疑問詞・命令文・There is (are)～	2	英検演習随時	
4	不定詞・動名詞 基本＋重要構文	5	英検演習随時	
5	接続詞・前置詞・形容詞・副詞	4	英検演習随時	
6	比較級・最上級	4	英検演習随時	
7	受け身	3	英検演習随時	
8	現在完了形	5	英検演習随時	
9	文型	5	英検演習随時	
10	関係疑問文・感嘆文・付加疑問文	4	英検演習随時	
11	仮定法	5	英検演習随時	
12	分詞・関係詞	6	英検演習随時	

学科	トータルモビリティ工学科	学年	2年
科目	英語Ⅱ	授業方法	講義・AH

2/2ページ

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
文法	a.現在形・過去形・未来系 b.助動詞 c.疑問詞・命令文・There is (are)～ a.不定詞・動名詞 基本＋重要構文 b.接続詞・前置詞・形容詞・副詞 c.比較級・最上級	4月～7月	22	英検3級 問題演習 (随時)
文法	a.受け身 b.現在完了形 c. 文型 d.関節疑問文・感嘆文・付加疑問文 e.仮定法 e.分詞・関係詞	9月～1月	28	英検3級 問題演習 (随時)

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/3ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	松原 徹 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	航空機システム	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	90
教科書	日本航空技術協会 航空工学講座(3) 航空機システム				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	航空機の進歩に対応した航空機システムについて理解させる。			
実務経験	航空自衛隊での実務経験を活かした航空機システムの授業。			
授業の進め方	実機による説明、映像・系統図を利用する。			
到達目標	1. 航空機システムの必要性、システムに使用されている機器、その作動原理・機能について理解させる。 2. 航空機製造にかかわる知識を高める。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	—	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
Ah	各系統の予習・復習、小テストの実施	30		
1	油圧系統	15		
2	空気圧系統	8		
3	酸素系統	8		
4	空調・与圧系統	8		
5	防除氷系統	8		
6	燃料系統	7		
7	補助動力装置系統	6		

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	府中 敬 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	キヤド演習	授業 方法	講義・ <u>演習</u> ・実習	教育時間	30
教科書	日経BP社 Autodesk AutoCAD2025/AutoCAD LT 公式トレーニングガイド				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	製造職に必要な図面を読み取る力をさらに向上させ、部品図も設計できるような設計と製造ができるエンジニアになることを目標として取り組む。			
実務経験	精密機械の図面修正、組み立て等の実務経験を活かして機械の仕組み学びながら図面を描く授業を行っている。			
授業の進め方	製図記号などを座学で学び、簡単な形状→部品図の設計へと進めている。			
到達目標	1. 図面を確実に理解できる。 2. 部品図の作成ができる 3. 効率の良い設計ができる。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	60%	30%	10%	100%

授 業 計 画			
(1単位時間＝50分)			
No.	教 育 項 目	時 間	備 考
【前期】			
1	図面注釈を作成	8	
2	簡単な立体図から3面図の作成	4	
【後期】			
1	部品図の作成	18	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/3ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	国守 剛 (常勤)	開講時期	1年次 通年
科目名	情報処理演習 I (情報リテラシー I)	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	60
教科書	例題30+演習問題70でしっかり学ぶExcel標準テキストWindows11/Office2021対応版 他 独自作成資料				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	コンピュータ基礎知識からEXCEL等の実務系アプリケーションまでを演習を通じて情報リテラシーを学ぶ。到達目標は社会人1年目に必要とされるICT活用スキル。			
実務経験	ネットワーク・エンジニア、パソコン検定インストラクター、高校情報系教諭			
授業の進め方	・WEBワーク(テスト)演習を通じて、情報リテラシーの基礎を習得する。 ・対面授業を通じてEXCEL等のアプリケーションを実習スタイルで習得し、情報処理の基本を学ぶ			
到達目標	入社時に要求されるICT活用スキルを有する人材 ■ 基本的なICT活用による職務の遂行と問題解決が、人を頼らずにできる ■ 基本的なICT知識・スキルを有する			
学業成績の 評価方法	期末得点(WEBテスト得点)	実技点	評点	評価点
	50%	50%	0%	0%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
【前期】				
AH	コンピュータ一般知識3Q	5		
	情報通信ネットワーク3Q	4		
	情報モラルと情報セキュリティ3Q	2		
1	ガイダンス／環境設定／DX説明	1		
2	EXCEL PART6	10		
	計	23		
【後期】				
AH	情報モラルと情報セキュリティ3Q	1		
	【AH】コンピュータ一般知識2Q	3		
	【AH】情報通信ネットワーク2Q	2		
	【AH】情報モラルと情報セキュリティ2Q	2		
	【AH】ICTを活用した問題解決2Q	2		
	【AH】時事・習熟状況に応じた課題	7		
1	PART7	10		
2	総合問題演習	7		

学科	トータルモビリティ技術科	学年	1年
科目	情報処理演習 I (前期)	授業方法	演習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
AH	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(1)	4 ～ 9 月	1	詳細内容 下段記載
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(2)		1	
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(3)		1	
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(4)		1	
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(5)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(1)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(2)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(3)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(4)		1	
	情報リテラシー I ③情報モラルとセキュリティ3Q(1)		1	
	情報リテラシー I ③情報モラルとセキュリティ3Q(2)		1	
コン ピ ュ ー タ ー 知 識	デジタルデータの処理の概念を説明できる 入力装置の種類と特徴を説明できる 出力装置の種類と特徴を説明できる 記憶装置の種類と特徴を説明できる 利用者サービスの種類を理解した上でサービスを利用できる デジタル化の利点や問題点を説明できる コンピューターを利用したデータの管理や分析ができる	詳細	5	
情 報 通 信 ネ ッ ト ワ ー ク	情報通信システムの基本的な仕組みを説明できる ログオン/ログオフの意味について説明できる ネットワーク資源の基本的な活用ができる ホームページの仕組みを理解した上で活用できる 電子メールの機能を理解した上で活用できる	詳細	4	
情 報 モ ラ ル と セ キ ュ リ ティ	情報モラルの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 個人情報保護の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 情報セキュリティの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる コンピューターウイルスに対する基本的な対処ができる 知的財産権や肖像権の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる	詳細	2	
導 入	【ガイダンス】 シラバス・DX説明 環境準備・設定	4月	1	
表 計 算 ・ デ ー タ ベ ー ス (E X C E L)	PART6 Lesson1	4月	1	
	PART6 Lesson2	5月	2	
	PART6 Lesson3		2	
	PART6 Lesson4	6月	2	
	PART6 Lesson5		2	
	PART6 Lesson6	7月	1	
	PART6 Lesson6	9月	1	

学科	トータルモビリティ技術科	学年	1年
科目	情報処理演習Ⅰ（後期）	授業方法	演習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
AH	情報リテラシーⅠ③情報モラルとセキュリティ3Q(3)	9月～3月	1	詳細内容 下段記載
	情報リテラシーⅠ④ICTを活用した問題解決3Q(1)		1	
	情報リテラシーⅡ①コンピュータ知識J2Q(1)		1	
	情報リテラシーⅡ①コンピュータ知識J2Q(2)		1	
	情報リテラシーⅡ①コンピュータ知識J2Q(3)		1	
	情報リテラシーⅡ②情報通信ネットワークJ2Q(1)		1	
	情報リテラシーⅡ②情報通信ネットワークJ2Q(2)		1	
	情報リテラシーⅡ③情報モラルとセキュリティJ2Q(1)		1	
	情報リテラシーⅡ③情報モラルとセキュリティJ2Q(2)		1	
	情報リテラシーⅠ①ICTを活用した問題解決J2Q(3)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(1)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(2)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(3)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(4)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(5)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(6)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(7)		1	
コンピュータ知識	デジタルデータの処理の概念を説明できる	詳細	3	
	入力装置の種類と特徴を説明できる			
	出力装置の種類と特徴を説明できる			
	記憶装置の種類と特徴を説明できる			
	利用者サービスの種類を理解した上でサービスを利用できる			
	デジタル化の利点や問題点を説明できる			
	コンピューターを利用したデータの管理や分析ができる			
ネットワーク情報通信	情報通信システムの基本的な仕組みを説明できる	詳細	2	
	ログオン/ログオフの意味について説明できる			
	ネットワーク資源の基本的な活用ができる			
	ホームページの仕組みを理解した上で活用できる			
	電子メールの機能を理解した上で活用できる			
セキュリティ情報モラル	情報モラルの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる	詳細	3	
	個人情報保護の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる			
	情報セキュリティの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる			
	コンピューターウイルスに対する基本的な対処ができる			
	知的財産権や肖像権の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる			
	【意思決定】			
ICTを活用した問題解決	収集または与えられた情報をもとに、物の選択や行為の決定を行うためのアルゴリズムを組み立て、意思決定に役立てることができる	詳細	2	
	【システム分析と設計】			
	相互に関連し合う要素から構成される体系、方式、組織などを演繹的・帰納的に解析・設計することができる			
	【不測の事態への対応】			
	トラブル、割り込み、予定からの逸脱、第三者の誤りの修復などに対応することができる			
(Excelデータ表計算)	PART7 Lesson1		2	
	PART7 Lesson2		2	
	PART7 Lesson3		2	
	PART7 Lesson4		2	
	PART7 Lesson5		2	
	PART7 Lesson6		2	
	総合問題演習		5	